

## 世田谷区 意見を聴く会 議事概要

日時：平成18年3月25日（土） 14時00分～16時30分

場所：鎌田区民センター

主催：国土交通省及び東京都

協力：世田谷区

参加者：住民28名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路調査事務所長 川端 東京外かく環状道路調査事務所 副所長 鈴木 東京外かく環状道路調査事務所 調査課長
東京都	臼田 外かく環状道路担当課長 藤井 外かく環状道路担当 課長補佐
世田谷区	板垣 道路整備部長 青山 道路整備部道路計画課長 窪松 砧総合支所 街づくり課長

提示資料：①東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）についての考え方  
②手続き及び事業の流れと各段階での検討事項  
③外環（関越道～東名高速）計画概念図（1/10～10/10）  
④「東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）についての考え方」及び「計画概念図」に対するご意見の整理  
⑤東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図  
⑥外環ジャーナル第20号、21号、22号  
⑦東京外かく環状道路（関越道～東名高速）これまでの検討の総括  
⑧東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）環境への影響と保全対策  
⑨意見を聴く会議事概要、外環オープンハウス・外環意見を聴く会アンケート結果（世田谷区）  
⑩外環の地上部の街路について  
⑪世田谷地域P1でいただいたご意見・ご質問について

次第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

### 議事概要

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

##### 国土交通省

- ・外環については、これまでP1沿線会議や地域にお伺いさせて頂き、現在の状況や考方等をご説明し、ご意見を伺ってきている。
- ・外環が整備された場合の環境への影響に関して心配する意見が多く、今年の2月に「環境への影響と保全対策」をとりまとめた。それについて説明をし、みなさんからの意見を頂きたい。あわせて、計画の考え方や地域の課題等についての意見も伺いたい。

#### 3 出席者紹介

#### 4 資料説明

#### 5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

##### 【外環の本線について】

- ・東名以南に関する情報がほとんどないようだが、計画はどうなっているのか。
- ・模型では東名以南の方向へ地下に下りる道路がつくられていたが、その道路はできるのか。
- ・東名以南について、イメージのような話をされたが、練馬問題が世田谷で起きるのではないかと危惧している。どうしてアクアラインや川崎縦貫道等とつなごうとしているか示し、イメージではなく図面で住民に理解できるようにしてほしい。

- ・本州四国連絡道路の3本の橋が赤字であることを考えると、3環状が全て必要なことに疑問がある。外環は圏央道ができてから必要性を検討すべきではないか。
- ・赤字になっても道路が必要という考え方は納得できない。子供たちに借金や悪い環境を残したくない。もう一度外環の必要性を考え直してほしい。

(回答：国土交通省)

- ・外環が環状道路として十分機能するために、東名以南の区間は必要と考えている。現在検討している区間は、昭和41年に都市計画決定され、主要な高速道路との接続もあり、優先して進めている。
- ・東名以南に関しては、川崎縦貫道との関係をどうするか、大田区に向かうかどうか等の基礎的な調査をしている段階で、PIを用いた検討が必要と考えている。現在検討している区間の方向性が出たら、引き続き検討することを考えている。
- ・東名ジャンクションの構造をより詳細に示すために、東名以南ができた場合を想定してモデルを作成している。
- ・仮に東名高速まで外環をつくる場合、東名以南のランプは、東名以南の計画が具体化した段階でつくることになる。
- ・東名ジャンクションでの用地買収に関しては、計画概念図の区間を先に用地買収を行い、東名以南の計画が具体化してから、東名以南の用地買収を行う2段階になる可能性が高い。
- ・東名ジャンクションにインターチェンジを設置することは検討していない。東名以南でどこにインターチェンジを設置するのも、現段階では具体的には検討していない。
- ・世田谷区長から東名以南の計画を具体化してほしいとの要望を受けている。
- ・現在検討している区間の計画に関して皆さんにまだ十分に理解を得ていないため、意見を聴きながら現在の区間の検討をしている。
- ・東名以南の区間は、世田谷区から大田区を經由して湾岸道路につなぐ構想であるが、すでにアクアラインとつながっている川崎縦貫道があり、多摩川を挟んで道路が2本も必要かどうか、そもそも東名以南が必要かどうか等さまざまな課題がある。地域の方々の不安も踏まえて検討していく。
- ・本州四国連絡橋は地域では無駄との意見は聞いていない。赤字であるのは、有料道路として整備したことの問題であり、反省すべきだが、道路の採算性と必要性は別と考えている。道路の必要性として、費用対効果の観点からは本州四国連絡道路は十分に効果がある。
- ・3環状はそれぞれに役割があり、圏央道があれば外環が必要ないというわけではない。
- ・外環を整備し、渋滞のために環境が悪い現状を解決しなければならない。一方で、沿線の環境をしっかりと守っていくのが事業者の責務だと考えている。

【インターチェンジ・ジャンクションについて】

- ・知人の専門家が東名ジャンクションを砧公園に持って行くことは技術的に可能であると言っており、図面を作成するので、それに関して議論する場を設けてほしい。
- ・砧公園のバードサンクチュアリは、1988年に井戸水を入れて以降、水を入れ替えておらず、ヘドロだらけで意味をなしていない。バードサンクチュアリのためにも、むしろ影響を与えてほしい。
- ・昭和41年の都市計画決定の図面では、東名ジャンクションのランプは全て東名高速の下を通過していたと思う。昭和41年の計画は間違っていたということなのか、後で文書で回答してほしい。
- ・東名ジャンクションのランプを野川の下に設置できないか検討して、後で文書

で回答してほしい。

- ・多摩川の上に東名ジャンクションをつくることはできないのか。

(回答：国土交通省)

- ・砧公園にはさまざまな動植物の貴重種がいるとの認識しているので、また教えていただきたい。
- ・地域への影響を極力小さくするため、移転、環境影響、緑地の改変をできるだけ小さくする案を現在示している。さまざまな考え方があると思うので、意見をいただきたい。
- ・昭和41年の計画は確認して回答する。東名ジャンクションのランプを野川の下に設置した場合、都心側のランプはさらに仙川の下を通す必要がある。地上にあがるまでの距離を短くする必要があるが、東京インターチェンジとの距離が十分になく、影響が生じる。また、郊外側については、喜多見小学校付近の現道が分離し、利用できなくなる。
- ・東名ジャンクションを地下化すると、現在の都市計画線内の移転は減るが、東名沿線で建築制限のかかっていない箇所を用地買収しなければならず、現在の計画以上の移転が生じてしまう。
- ・多摩川など河川の上は、防災面から構造上の制約が多く、問題が多い。

(回答：東京都)

- ・砧公園は、年間300万人が利用する公園で、災害時の避難場所にも指定されている。砧公園の改変や面積の削減に関して広範な賛成を得ることは難しいと考えている。

#### 【環境影響について】

- ・現ルートが最適か疑問である。重金属の蓄積のような、大気汚染の長期的な影響や景観への影響が心配である。東名ジャンクションの地下化等によるメリット、デメリットを事業者側で判断するのではなく、さまざまな人の意見を聴くべきである。
- ・喜多見小学校のすぐそばに都市計画道路ができることが心配である。それも含めて、東名ジャンクションを地下にしたらどうなるのか検討してほしい。
- ・周辺への影響を少しでも小さくするために、渋滞が起こるであろう料金所を地下化できないか。
- ・換気所からの周辺の大気質への影響は小さいかもしれないが、影響があることには変わらないので、影響が小さくなるよう検討してほしい。
- ・東名ジャンクション周辺に観測地がなく、ジャンクションから離れた箇所で観測したデータで「環境への影響と保全対策」を作成されても納得できない。どうして東名ジャンクションの計画線内で観測しないのか。
- ・東名ジャンクションの地下からの出口付近で、トンネルから出てきた空気による汚染を心配している。その付近で観測調査をしておしてほしい。
- ・田直公園周辺は暑い等、狭い地域で気候の変化はある。土地勘がないのだから、憶測や推測ではなく、しっかりと事実に基づく結果を示してほしい。観測地点を変えて環境調査をやりなおしてほしい。
- ・料金所の地下化は技術的に可能との回答であるが、地下化するとは言っていない。喜多見でも東名高速ができてから自動車公害が生じている経験もあり、料金所で働いている人たちは皆マスクをしているため、料金所付近の大気への影響が心配で疑心暗鬼になっている。他の料金所の参考データを公表してほしい。
- ・東名ジャンクション周辺は風向が不規則である。東名ジャンクション内や沿線で環境調査をしてほしい。住民の要望を聴いていない。子供たちにいい環境を残したい。もっと生活している人たちの目線で考えてほしい。
- ・野川を改修した際に井戸水が出なくなった前例があり、外環の開削工事で影響が生じるのではないかと心配である。専門家も影響が出そうだと言っていたの

を聞いた。

- ・東名ジャンクションで地下水への対策をしなければ、地下水位に3.5mの変化が生じると言っているが、外環の上下流でどのような影響が生じるのか説明してほしい。
- ・オオタカは少なくとも2固体棲息しているとの確認をとっている。
- ・世田谷区のボーリング柱状図では、武蔵野礫層の下に礫層がある。国や都が示している地質断面図では納得できないので、東名ジャンクション周辺の柱状図を示してほしい。
- ・東名ジャンクションの設置により周辺の気温が上昇するのではないかと心配である。気温についても東名ジャンクションの計画線内で観測してほしい。

(回答：国土交通省)

- ・将来は料金所の地下化が可能かもしれないことを含めて、東名ジャンクションの広い土地と野川を一体的に整備する等、さまざまな検討が必要と考えている。
- ・現在は収受員の労働環境等を考えて、地上部に設置する方がよいと考えている。将来は料金所に屋根を設ける等が可能になるかもしれない。事業を実施する段階で、ETCの普及状況を見ながら検討をする。
- ・換気所からの影響を住宅地になるべく与えないために、ジャンクション内に設置する計画である。対策を何もしなくとも環境基準を守れるとの予測であるが、電気集じん機等の除じん装置設置を考えている。
- ・換気所からの排気は、上空の風向、風速に影響を受ける。崖線の上空と下で風向、風速に相関があるので、崖線の直下に観測地点を設ける必要はないと考えている。
- ・道路のすぐ沿道では、風向、風速に関係なく、直近で大気質への影響は最大となるので、そのために観測地点を新たに増やす必要はないと考えている。
- ・トンネル付近で大気質への影響は厳しいが、一番厳しい状況を想定して、予測をしている。今の観測地点で十分な予測評価ができると考えているが、調査地点の追加について改めて精査したい。
- ・仮に地下水に影響が生じた場合、上流側では地下水位が上昇し、地盤沈下、根腐れ、下水管等の上昇、液状化現象が起きやすくなる。下流側では地下水位が下がり、井戸の取水ができなくなる、湧水が出なくなる、野川の流量が減少する等の問題が考えられる。そのようなことが生じないように対策を講じる必要がある。
- ・オオタカの飛翔は確認している。営巢の可能性があるとの情報も得ている。その上でオオタカへの影響があるかないかの検討をする。
- ・いただいた世田谷区の柱状図を確認し、必要であれば東名ジャンクション周辺の柱状図を提示する。

(回答：東京都)

- ・自動車単体規制等の効果があらわれ、NOxやSPMが減少しており、平成16年で全ての一般大気測定局で環境基準を達成できた。一方で、道路を整備して交通を分散させる政策を推進しており、それら両面から大気質の改善を進める。

【進め方について】

- ・2月8日に「環境への影響と保全対策」を公表しているが、2月5日の世田谷区での意見を聴く会ではそのことに全く触れられなかった。公表の3日前のためもうできていたのではないか。2月5日の意見を聴く会はどういう設定だったのか。
- ・本日の意見を聴く会を鎌田で実施するのは、東名以南に関して検討するためなのではと考えている人が多かった。
- ・「世田谷地域P1でいただいたご意見・ご質問について」が3月21日に送付されたが、本日の意見を聴く会まで4日しかないために住民側の対応がとれなか

った。この日程のとり方に疑問がある。

- ・国や都に焦りが見えるため、本年度中に何かしらの区切りをつけようとしているのではないかと。なぜ急いで意見を聴く会を開催するのか。
- ・自治会としての対応がとれず、本日の意見を聴く会に参加している住民は少ないので、今回の意見は地域全体の意見とは言えないことを理解してほしい。
- ・東名ジャンクションの設置箇所の検討を国が行ったということは、現在の国や都が示している計画は変更可能と解釈して話し合いを続けたいと考える。
- ・構想段階で住民が意見を言う機会がなかったため、計画の具体化に入っているのが納得できない。
- ・「世田谷地域P I でいただいたご意見・ご質問について」のような検討結果を公表して、さまざまな人の意見を聴いてほしい。
- ・意見を聴く会は、住民の意見を聴くのではなく、国や都の説明会になっている。住民の意見を聴いて、真剣に検討する姿勢を示してほしい。
- ・意見を聴く会は計画ありきで、現在の計画に住民を誘導しているように感じられる。
- ・外環の必要性に疑問があり、構想段階の議論がまだ必要ではないか。
- ・本日の意見を聴く会で回答されていない部分は文書で回答するのか。

(回答：国土交通省)

- ・2月5日の意見を聴く会では、「環境への影響と保全対策」について準備中であると回答している。公表する前日まで作業をしていた。
- ・「環境への影響と保全対策」を公表後、世田谷区と相談をし、広報と会場の都合もあり、本日の開催となった。なるべく早く環境への影響に対する皆さんの心配に応えたかった。
- ・意見を聴く会の議事概要を作成し、2月5日の議事概要を一度住民にチェックしていただき、追加や修正をしてから「世田谷地域P I でいただいたご意見・ご質問について」を作成したために時間がかかった。関心の高かった環境への影響については、その前にお送りしている。
- ・「考え方」や計画概念図は計画の基本となる案であり、さまざまな意見をいただきながら検討したい。住民側からの東名ジャンクションの図面を見せていただき、検討したい。
- ・構想段階からP I 協議会やP I 会議を開催し、意見を聴く会を昨年も開催している等、なるべく計画の早い段階から住民の意見を聴いている。
- ・国や都でさまざまな検討をした結果、一番地域への影響が小さく、最もいい構造との考えで現在の案を提示している。客観的なデータを基に比較してほしい。
- ・本日の意見を聴く会の議事概要を送るので、チェックをしてほしい。その上で、前回と同様に回答を文書で送る。